

2 学力向上アクションプランの具体例

横浜市立岡村小学校 令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
心も体も元気な岡村っ子	〈自分づくりに関する力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いやりをもち、輝く自分を求めて、夢中になって共に学び、未来（中学校へ）に羽ばたく子どもを育てます。 ・ 横浜市立カリ・マネ要領に示す三つのつながりを重視するとともに、自分づくり教育の10の視点、オリ・パラ教育の4×4の取組における指導の重点等をスパイスとする、子どもにとって魅力ある教育課程を編成します。 ・ 体育科重点研究に人権教育の視点を加え、全ての子どもが運動を楽しみ、自己肯定感を高めることができる授業づくりを実践研究します。その考え方を、全ての教科・領域等へ広げていきます。 ・ 新教育課程に基づく授業を含む全教育活動が充実するための学校教育環境の工夫・改善を推進します。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	① 一人ひとりの学びを大切に、UDに基づく授業、スキルタイムの活用などの充実を進める。
担当 学習指導・評価委員会	② 一人ひとりの学びを大切に、少人数指導や教科担任制による指導などの充実を進める。
	③ 学習習慣形成のために、家庭学習や読書活動の充実を進める。

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

H29年度と比較してH30年度の学力・学習意識・生活意識のレーダーチャートが一回り広がった（プラスとなった）。例えば、市の平均得点を上回る学年・教科はなかったが、その差2ポイント未満が3学年3教科で5つあった。また、各教科等の学習が「好き」とするプラス傾向も高くなり、3学年6教科等で市と比べて15ポイント（割合）以上が7つあった。体験学習を重視したこと、ユニバーサルデザインに基づく授業づくりを大切にしたことなどがその要因と考える。

(2) 学力層を経年変化で捉えた分析

30年度の各学年・各教科の学力層分布は29年度のそれと比べ、飛躍的にプラス傾向を示す学年が多く確認できた。例えば、学力層Dの割合が40%台から20%台に減るなど。「苦手な子」や「関心のない子」等に焦点を当てた授業づくりに丁寧に取り組んだこと、複数教員による指導・少人数指導・一部教科担任制など学習の進め方（形態など）を工夫したことなどが、プラスを生んだ要因と考える。

(3) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計の分析

国語科の学力が低い子は算数科の学力も低い傾向にあること、授業でノートをていねいに工夫して書けない子、家でほとんど勉強しない子、読書をほとんどしない子は各教科の学力層Dになりがちなこと等が分かった。授業での学び方（ノートへの記録法や話合いの仕方など）の指導の工夫等とともに、保護者との連携を図りながら、宿題の実施、おかむらノートへのチャレンジ、読書活動の推進等、家庭学習の充実も推進していきたい。

3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	◆友だちが何を言おうとしているか分かるようとして聞き、相手に伝えたいという意欲をもって自分の思いや考えを伝える力	○幼保とのスムーズな接続を目指して、学習内容や展開等を丁寧に進める。 ○小学生らしい学習や学校生活の習慣形成を目指し、指導・支援を心がける。 ○めあてをもって学習に粘り強く取り組めるように、ほめる機会を大切にする。	
2年	◆やりたいことや分からないことを解決するために自分なりに考えて行動する力 ◆学校や地域の人たちと楽しく交流する力	○一人ひとりのみとりを大切にして、基礎的・基本的な学習の習熟を図る。 ○地域の材を活かした教育活動に粘り強く取り組めるように工夫・支援する。 ○めあてや目的をもって学習に粘り強く取り組めるように、授業と家庭学習のつながりを大切にする。	
3年	◆友だちの考えを自分と比較しながら聞き、相手に伝わるように自分の思いや考えを伝える力 ◆課題解決のために必要なことを考え、最後までやり通そうとする力	○基礎的・基本的な学習の定着を目指し、授業の導入や振り返りを大切にする。 ○主体的に粘り強く学習に向かう力を伸ばすために、算数科少人数指導等を工夫する。 ○友だちと協力して学び合う力を伸ばすために、地域での教育活動をていねいに進める。	
4年	◆友だちと活動する中で互いのよいところを認め合い、自分のよいところを見付ける力	○基礎基本の定着を図るために、スキルタイム、小テストや宿題等を組み合わせて繰り返し実施する。 ○子どもたちの興味・関心を引き出すために、教科一部担任制や多様な学習形態を工夫する。 ○友だちと学び合う力を伸ばすために、話合いの場や様々な体験活動等を工夫する。	
5年	◆友だちの立場や意図を理解しながら聞き、自分の立場や意図が伝わるようにまとめて自分の思いや考えを伝える力 ◆課題解決までの道筋を見通し、困難が生じた場面でも解決方法を工夫して、粘り強く取り組む力	○基礎的・基本的な学習に主体的に取り組めるように、多様な宿題プリントを用意する。 ○粘り強く学習に取り組む力を伸ばすために、教科や単元などのつながりを大切にする。 ○一部教科担任制を導入するとともに、理科支援員や学校司書等と連携して子どもが主体的に学ぶ授業づくりを進める。	
6年	◆友だちと協力し、認め合いながら自分のよさを生かして活動する力	○主体的に学習に向かう力を伸ばすために、授業と家庭学習のつながりを大切にする。 ○対話的に学習を深める力を伸ばすために、話合いの場や学習形態等を工夫する。 ○中学校とのつながりを大切に、学習形態や教科一部担任制等を工夫する。	
個別支援学級	◆気持ちのよい挨拶や返事をしたり、してはいけないことがわかり、自制したりする力◆課題解決のために必要なことを考え、最後までやり通そうとする力 ◆友だちと活動する中で互いのよいところを見付け、認め合う力	○一人ひとりの子どもが意欲をもって、学習や学校生活が送れるように指導・支援する。 ○保護者と連携を深め、一人ひとりの課題の理解に努め、学習内容、方法や交流場面等を吟味する。 ○個別支援学級の仲間として、互いに刺激し助け合えるように工夫・支援する。	

★自分づくり教育では、学習を充実させるための「10の視点」の記しています。
参考にしてください。

1. 学習の見直し
2. めあてや目的に沿った学習の振り返り
3. 人との関わり
4. 多様な集団の構成
5. 豊かな体験活動
6. 地域教材の活用
7. 話し合い活動
8. ツールの活用
9. 学習形態の工夫
10. 場の設定の工夫

アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)

生きてはたらく知

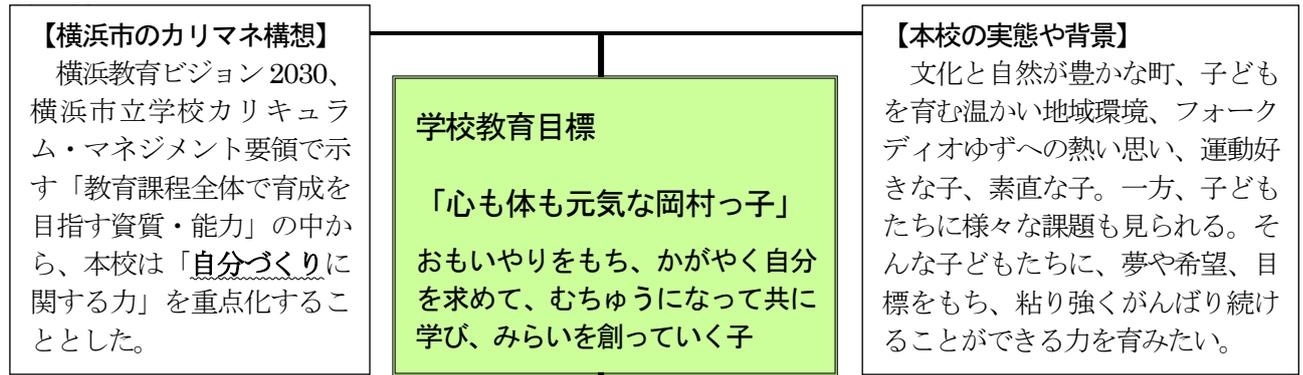
- ① 一人ひとりの学びを大切に、UDに基づく授業、スキルタイムの活用などの充実を進める。
- ② 一人ひとりの学びを大切に、少人数指導や教科担任制による指導などの充実を進める。
- ③ 学習習慣形成のために、家庭学習や読書活動の充実を進める。

自分づくり教育

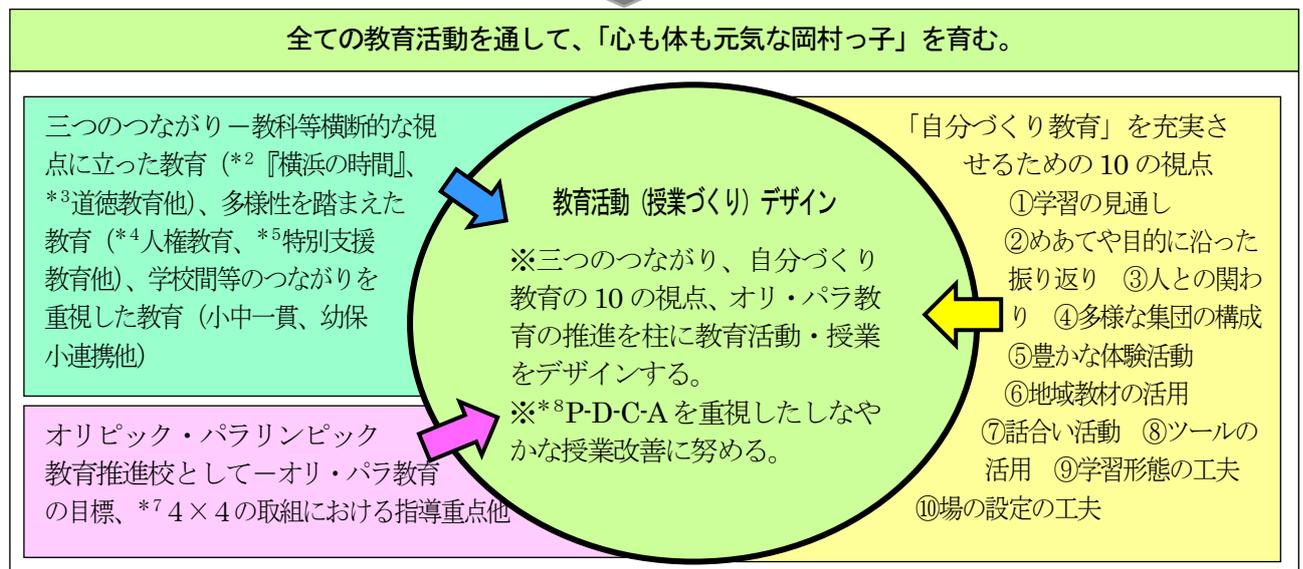
- ① 本校の特色ある新教育課程編成のために自分づくり教育の視点から授業を実践研究する。
- ② その視点から生活科・「横浜の時間」等で「地域のひと・もの・こと」を大切にする。
- ③ 自己肯定感を育むために、振り返り学習等効果的に取り入れた授業を大切にする。

オリ・パラ教育

- ① 本校の特色ある新教育課程編成のためにオリ・パラ教育の視点から授業を実践研究する。
- ② その視点から体育科学習、生活科や「横浜の時間」等の単元デザインを工夫する。
- ③ 他人を思いやる心、共に助け合う態度を育むために、体験的な学習等を工夫する。



*1 「自分づくり教育」で身に付けさせたい資質・能力			
	小学校・低学年	小学校・中学年	小学校・高学年
つなげ続ける	○挨拶や返事をしたり、してよいことと悪いことがあることが分かったりする。 ○友だちが何を言おうとしているか分かるように聞き、相手に伝えたいという意欲をもって自分の思いや考えを伝える。 ○新たな環境の中で友だちや周りの人と協力しながら活動する。	○気持ちの良い挨拶や返事をしたり、してはいけないことが分かり、自制したりする。 ○友だちの考えを自分と比較しながら聞き、相手に伝わるように自分の思いや考えを伝える。 ○自分の役割を理解し、友だちや周りの人と協力しながら活動する。	○相手や場に応じた挨拶や返事をしたり、約束やきまりの意義を理解したりして、信頼される行動をとろうとする。 ○友だちの立場や意図を理解しながら聞き、自分の立場や意図が伝わるように工夫しながら自分の思いや考えを伝える。 ○友だちや周りの人と目的を共有し協力して活動するとともに、活動することのよさを感受できる。
求め続ける	○身近な生活の中からやりたいことや分からないことを見付ける。 ○やりたいことや分からないことを解決するために自分なりに考えて行動する。 ○できるようになったことや分からなかったことなど、自分の変化に気付くことで自信をもつ。	○学校や地域の中から、やりたいことや分からないことを見出す。 ○課題解決のために必要なことを考え、最後までやり通そうとする。 ○できるようになったことや分からなかったことなどから、自分や自分を取り巻く学校や地域を見つめ直す。	○学校や地域を見つめ直すことで解決したいことや解決すべきことを見出す。 ○課題解決までの筋道を見通し、困難が生じた場面でも解決方法を工夫して、粘り強く取り組む。 ○できるようになったことや分かったことから、自分や自分を取り巻く環境を前向きに見つめ直す。
見つけ続ける	○好きなことや得意なこと、大切なことを見つけて、友だちと認め合い、自信をもつ。 ○係活動や家での仕事などを通して、自分の役割の大切さが分かる。 ○学校や地域の人たちと楽しく交流する。	○友だちと活動する中で互いのよいところを認め合い、自分のよいところを見付ける。 ○互いの役割や役割分担の必要性に気づき、自分の役割を積極的に行う。 ○学校や地域の人たちと交流を深める中で、そうした人たちの考え方や生き方のすばらしさに気付く。	○友だちと協力し、認め合いながら自分のよさを生かして活動する。 ○自分の役割の必要性を理解し、責任をもって行動する。 ○学校や地域の人と交流し、自分らしい生き方やあこがれる生き方について考える。



1. *1 「自分づくり教育」で身に付けさせたい資質・能力について

教育課程全体を通じて教科等横断的に育成を目指す「資質・能力」の「自分づくりに関する力」のイメージ図

